

Infoprint Administrator

Infoprint Administratorは、TCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルを使用してネットワーク上のプリンターの状態の監視をしたり、ネットワークインターフェースボードの設定や機器の設定を変更したりすることができます。

補足

- 機種によっては使用できない機能があります。

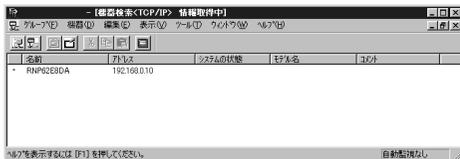
参照

対象OSとプロトコルスタックについては、CD-ROMに収録されている使用説明書〈取り扱い編〉を参照してください。

ネットワークインターフェースボードの設定を変更するには

- 1 Infoprint Administratorを起動します。
- 2 [グループ]メニューをクリックし、[機器検索]をポイントし、[TCP/IP]または[IPX/SPX]をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



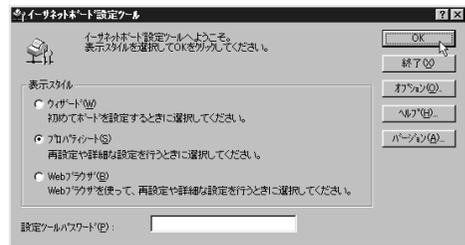
補足

- 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

- 3 一覧からネットワークインターフェースボードの設定を変更するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[イーサネットボード設定]を選択します。



- 4 イーサネットボード設定ツールが起動します。



- 5 [ウィザード]または[プロパティシート]を選択し、[次へ]をクリックします。

- [ウィザード]は、初めてネットワークインターフェースボードの設定をするときに選択します。
- [プロパティシート]は、ネットワークインターフェースボードの設定を変更する場合や詳細な設定を行うときに選択します。

ウィザードを選択した場合

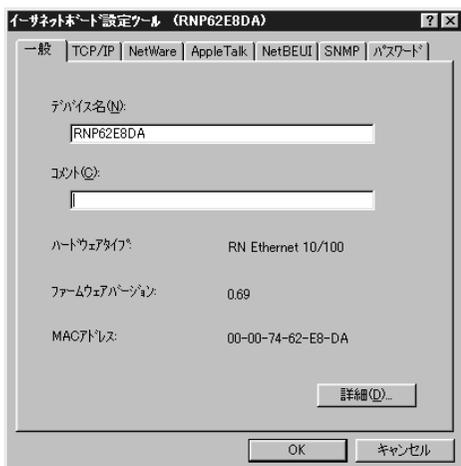
- ① 必要な項目を入力し、[次へ] をクリックします。



この後の操作はヘルプを参照してください。

プロパティシートを選択した場合

- ① ダイアログボックスに設定の一覧が表示されます。



ダイアログボックスの各項目について詳しくは、イーサネットボード設定ツールのヘルプを参照してください。

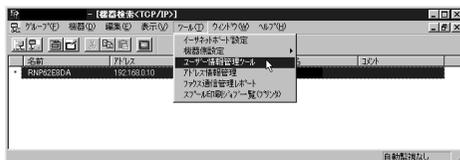
ユーザー情報を管理するには

- ① Infoprint Administratorを起動します。
- ② [グループ]メニューをクリックし、[機器検索]をポイントし、[TCP/IP]または[IPX/SPX]をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



- ③ 一覧からユーザー情報を管理するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[ユーザー情報管理ツール]を選択します。



パスワードを入力する画面が表示されます。

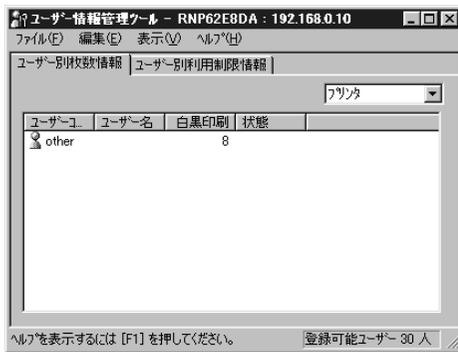
- ④ パスワードを入力して[OK] をクリックします。



補足

- 工場出荷時のパスワードは「password」です。

ユーザー情報管理ツールが起動します。



ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、ユーザー情報管理ツールのヘルプを参照してください。

省エネモードを設定するには

- 1 Infoprint Administratorを起動します。
- 2 [グループ]メニューをクリックし、[機器検索]をポイントし、[TCP/IP]または[IPX/SPX]をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



補足

- 設定を変更するプリンターが使用しているプロトコルを選択してください。

一覧から省エネモードを設定するプリンターをクリックして反転表示させます。

補足

- グループ内の機器を全て設定したいときには選択する必要はありません。

- 3 [グループ]メニューをクリックし、[省エネモード]をポイントします。

補足

- グループ内の機器を全て設定する場合は[グループ機器]を選択します。

- 選択した機器だけを設定する場合は[選択機器]を選択します。

- いずれの場合も表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。

制限

- [タイマー設定]は[グループ機器]を選択した場合に、設定できます。

グループ機器の場合



選択機器の場合



設定値について詳しくは、Infoprint Administratorのヘルプを参照してください。

機器側操作部のメニューをロックする

- 1 Infoprint Administratorを起動します。
- 2 [グループ]メニューをクリックし、[機器検索]をポイントし、[TCP/IP]または[IPX/SPX]をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



- 3 機器側操作部のメニューをロックしたい機器をクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[機器側設定]をポイントし、[機器側操作部のメニューロック]をクリックします。



Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- 4 ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックします。

補足

- 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「password」と入力します。

- 5 機器側操作部のメニューをロックします。

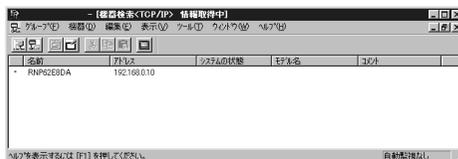
補足

- 詳しくは、Webブラウザのヘルプを参照してください。ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。

用紙種類を設定する

- 1 Infoprint Administratorを起動します。
- 2 [グループ]メニューをクリックし、[機器検索]をポイントし、[TCP/IP]または[IPX/SPX]をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



- 3 用紙種類を設定したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[機器側設定]をポイントし、[用紙種類設定]をクリックします。



Webブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- 4 ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックします。

補足

- 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「password」と入力します。

- 5 用紙種類を設定します。

補足

- 詳しくは、Webブラウザのヘルプを参照してください。ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。

スプール印刷ジョブの一覧を表示する

- 1 Infoprint Administratorを起動します。
- 2 [グループ]メニューをクリックし、[機器検索]をポイントし、[TCP/IP]または[IPX/SPX]をクリックします。

機器の一覧が表示されます。



- 3 スプール印刷ジョブの一覧を表示したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール]メニューの[スプール印刷ジョブ一覧プリンタ]をクリックします。
- 4 ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックします。

補足

- 工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードは「password」と入力します。

- 5 スプール印刷ジョブの一覧が表示されません。

補足

- スプール機能は拡張 HDD ボード（オプション）装着時に使用できます。
- スプール印刷ジョブ一覧を表示するためには、スプール機能を有効に設定しておく必要があります。
- 詳しくは、Webブラウザのヘルプを参照してください。ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。

無線LANを使用する

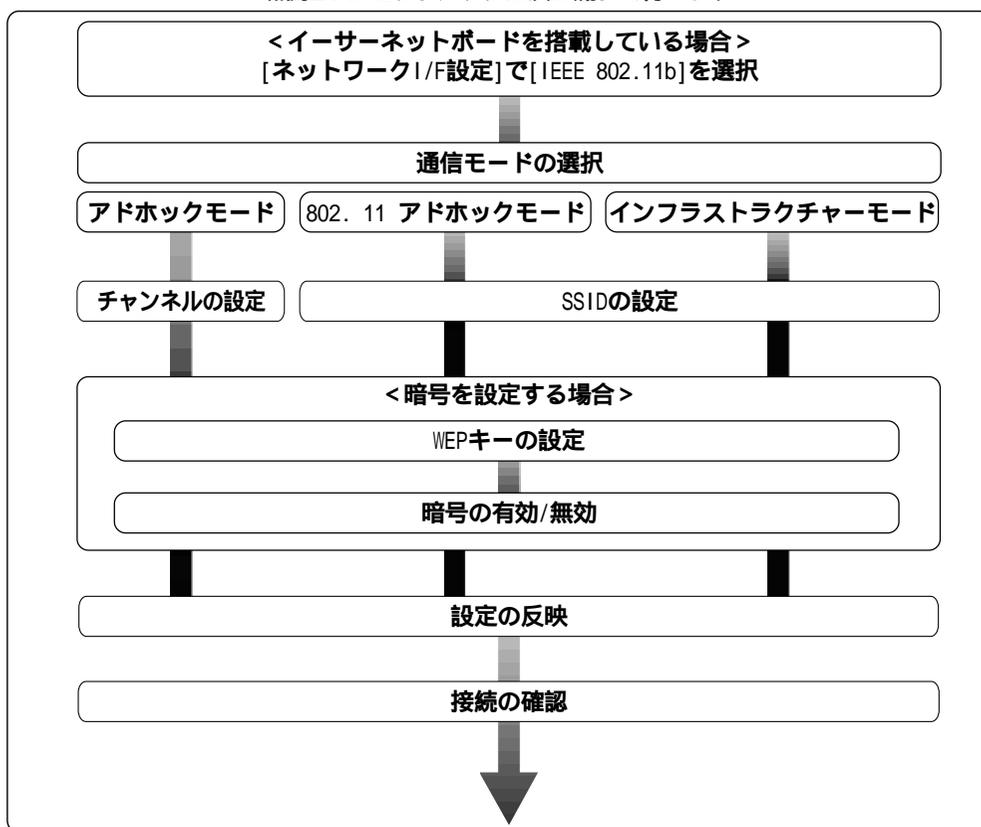
📖 操作の前に

本機のIPアドレスとサブネットマスクを設定してください。プリンターの操作パネルからの設定方法は、CD-ROMに収録されている使用説明書<取り扱い編>を参照してください。

パソコンに使用する無線LANカードおよびアクセスポイントは、WiFi認定を取得している製品を使用ください。

無線LANセットアップガイド

無線LANのセットアップは次の流れで行います



GPMUSEN-2

📖 補足

- Windows XP標準のドライバーかユーティリティを使用してWindows XPの無線LANクライアントと通信する場合、通信モードは「802.11アドホックモード」に設定してください。
- WEPキーの認証方式については、P.141「無線LANの設定」を参照してください。

インフラストラクチャーモードで使用する

インフラストラクチャーモードは、アクセスポイントと呼ばれる中継機を経由してネットワークと通信を行う方法です。本機のインフラストラクチャーモードの設定は、通常、操作パネルから行いますが、Webブラウザまたはtelnetからも設定できます。

🔍 参照

- 本機の操作パネルの設定方法は、CD-ROM に収録されている使用説明書 < 取り扱い編 > を参照してください。
- Webブラウザの操作方法は、P.123 「Webブラウザを使用する」を参照してください。
- telnetの使用方法は、P.134 「telnetによるリモートメンテナンス (mshell)」を参照してください。

🔴 重要

- SSID、WEPキーの設定後に接続できなくなった場合は、それらの設定を確認してみてください。それでも接続できない場合は、本機の操作パネルから[システム初期設定] [インターフェイス設定] [IEEE 802.11b] [設定値初期化]と押し、初期値に戻してください。
- 無線LANカードやアクセスポイントによっては、WEPキーを複数個設定できる製品があります。その場合、本機に設定したWEPキーと同じキーを1番目に設定してください。

アドホックモードで使用する

アドホックモードは、アクセスポイントを使用せずに各クライアント同士が通信を行う方法です。各クライアントの環境により、SSIDの入力が必要な「802.11アドホックモード」またはSSIDの入力が不要な「アドホックモード」を選択してください。

本機のアドホックモードの設定は、通常、操作パネルから行いますが、Webブラウザまたはtelnetからも設定できます。

🔍 参照

- 本機の操作パネルの設定方法は、CD-ROM に収録されている使用説明書 < 取り扱い編 > を参照してください。
- Webブラウザの操作方法は、P.123 「Webブラウザを使用する」を参照してください。
- telnetの使用方法は、P.134 「telnetによるリモートメンテナンス (mshell)」を参照してください。
- 各クライアントの無線LAN機器の設定方法、パソコンの設定方法は、各製品の使用説明書またはネットワーク管理者に確認してください。

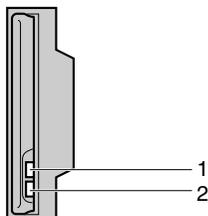
📝 補足

- パソコンに装着した無線LAN機器によっては、チャンネルが設定できないものがあります。この場合、プリンター側のチャンネルをパソコンで指定されているチャンネルに合わせます。
- 通信モードの種類が違うアドホックのクライアントが複数台混在している場合、正常に通信できない場合があります。

接続の確認

- 1** 無線LANカードのLEDが点灯していることを確認してください。

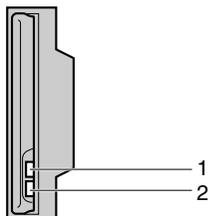
❖ インフラストラクチャーモードのとき



ZGDH600J

- 無線LANカードが有効になって起動していると、オレンジ色に点灯します。プリンタの電源がOnでもIEEE802.11b(無線LAN)が選択されていないと点灯しません。
- ネットワークに正常に接続していると、緑色に点灯します。LEDが点滅しているときはアクセスポイントを検索中です。

❖ アドホックモード / 802.11アドホックモードのとき



ZGDH600J

- 無線LANカードが有効になって起動していると、オレンジ色に点灯します。
- ネットワークに正常に接続していると、緑色に点灯します。LEDが点滅しているときは、通信相手を検索中です。数秒後に点灯に変わります。

- 2** Web ブラウザを使用して、プリンターと正常に接続できることを確認してください。 P.123 「Webブラウザを使用する」

- 3** システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法について詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書<取り扱い編>を参照してください。

インフラストラクチャーモードのときは

本機の操作パネルで電波状態を確認することができます。

- 【メニュー】キーを押します。
- 【▲】または【▼】キーを押して、「チョウセイ / カンリ」を表示させ、【OK】を押します。
- 【▲】または【▼】キーを押して、「デンバジョウタイ」を表示させ、【OK】を押します。

電波状態が表示されます。

- 4** 確認が終了したら、【メニュー】キーを押します。

Webブラウザを使用する

本ネットワークインターフェースボードにはプリンターをネットワークプリンターとして使用する機能に加え、ネットワークインターフェースボードがWebサーバとして動作し、ネットワーク上のコンピュータからWebブラウザを使ってプリンターの状態を確認したり、ネットワークインターフェースボードの設定を変更したりできる機能を搭載しています。

❖ プリンター側の環境設定

この機能はTCP/IPプロトコルを使って動作します。この機能を使用する場合は、プリンター側でTCP/IPプロトコルの設定を行ってください。TCP/IPの設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。



参照
TCP/IPに関するプリンターの設定方法について詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書 <取り扱い編> を参照してください。

❖ コンピュータ側の動作環境

対象OS	対応ブラウザ
Microsoft Windows 95/98/Me	Microsoft Internet Explorer 4.01 以降 Netscape Navigator 4.06 以降
Microsoft Windows 2000	
Microsoft Windows XP	
Microsoft Windows NT 4.0	
Microsoft Windows NT3.51	
MacOS 7.6.1 ~ 9.1	
Mac OS X 10.1	
Solaris 2.5/2.6/2.7/7/8	

! 制限

- ブラウザの[戻る]ボタンで前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの[更新]または[再読み込み]をクリックしてください。
- ブラウザで設定しているフォントサイズによっては一部表示がずれることがあります。Internet Explorerでは「中」以下、Netscape Navigatorでは「10ポイント」以下でお使いいただくことをお勧めします。
- Webブラウザから取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Webブラウザの[更新]または[再読み込み]をクリックしてください。

トップページを表示する

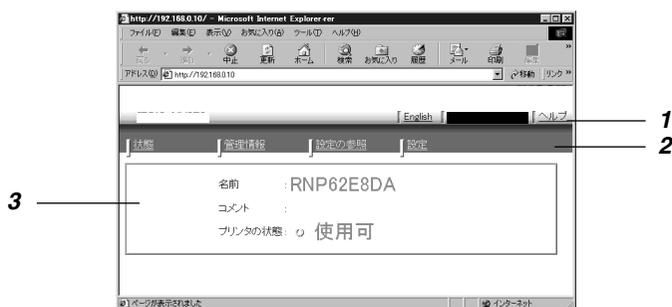
コンピュータ側でWebブラウザを起動し、URLとしてプリンターのIPアドレスを指定すると、トップページが表示されます。次はURLの入力例です。

http://192.168.15.16/

(プリンターのIPアドレスが192.168.15.16の場合)

補足

- ネットワーク内にDNSサーバが置かれている場合は、ホスト名を使った指定ができます(たとえば http://webmonitor.netprinter.ibm.co.jp/)。DNSサーバにプリンターのIPアドレスとホスト名を登録してください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。
- ご使用のブラウザにプロキシサーバの設定が行われている場合、プリンターのIPアドレスへの接続には、プロキシサーバを使用しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。



1. ヘッダーボタン

[English] をクリックすると英語表示に切り替わります。[Homepage] [ヘルプ] ボタンは、本機では対応していません。

補足

- ヘルプはHTMLファイルとしてCD-ROMにも収録されています。
- 英語表示に切り替えても、[管理情報] メニューの [ジョブ履歴] 画面の一部に日本語が表示されます。

2. メニューボタン

設定・確認を行うためのボタンが並んでいます。

補足

- [設定] をクリックするとユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。このダイアログではパスワードだけを入力します。工場出荷時のパスワードは「password」です。
- パスワードはリモートメンテナンス (mshell) で使用するパスワードと共通です。

3. 表示エリア

ネットワークインターフェースボードの名前とコメント文、プリンターの状態が表示されます。

ボードの設定を変更するには

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



3 [設定] をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空欄に、パスワードには「password」と入力します。



5 設定したい項目をクリックして、各種設定を行ないます。

以下の項目が設定できます。

❖ [一般]

イーサネットボード/拡張無線LANボードと機器の一般設定を行います。

❖ [TCP/IP]

イーサネットボード/拡張無線LANボードと拡張1394ボードのTCP/IPプロトコルに関する設定を行います。

❖ [SNMP]

コミュニティ名に応じた設定を行います。コミュニティ名は10種類まで登録できます。

❖ [NetWare]

イーサネットボード/拡張無線LANボードのNetWareで印刷するための設定を行います。

❖ [AppleTalk]

イーサネットボード/拡張無線LANボードのAppleTalkプロトコルに関する設定を行います。

❖ [NetBEUI]

イーサネットボード/拡張無線LANボードのNetBEUIプロトコルに関する設定を行います。

❖ [IEEE 1394]

拡張1394ボードのIP over 1394とSCSI print(SBP-2)に関する設定を行います。

● 制限

この選択項目は拡張1394ボードが装着されているときに表示されます。

❖ [IPP認証]

IPPプロトコルを使って印刷するときの認証に関する設定を行います。

❖ [用紙種類]

機器にセットされている用紙の種類をドロップダウンメニューから選択します。

❖ [パスワードの変更]

パスワードを変更します。

このパスワードはネットワークや機器の設定を変更するときや、スプールされているジョブを削除するときに入力します。

❖ [IEEE 802.11b (無線LAN)]

拡張無線LANボードの通信に関する設定を行います。

● 制限

この選択項目は拡張無線LANボードが装着されているときに表示されます。

📖 補足

設定方法について詳しくは、ヘルプを参照してください。

ボード設定の参照を行なうには

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスに「http://（設定を変更するプリンターのIPアドレス）」と入力します。
- 3 Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



- 4 [設定の参照] をクリックします。
- 5 参照したい項目をクリックします。

以下の項目が設定できます。

- ❖ [一般]
機器の一般設定が表示されます。
- ❖ [TCP/IP]
TCP/IPプロトコルに関する設定が表示されます。
- ❖ [NetWare]
NetWareで印刷するための設定が表示されます。
- ❖ [AppleTalk]
AppleTalkプロトコルに関する設定が表示されます。
- ❖ [NetBEUI]
NetBEUIプロトコルに関する設定が表示されます。
- ❖ [IEEE 1394]
拡張1394ボードのIP over 1394とSCSI print(SBP-2)に関する設定が表示されます。
- ❖ [IEEE 802.11b (無線LAN)]
無線LANボードの通信に関する設定が表示されます。

DHCPを使用する

プリンターをDHCP環境で使用することができます。WINSサーバが稼働している環境では、同時にプリンタ名をWINSサーバに登録することができます。

● 制限

- IEEE 1394(IP over 1394)はDHCPに対応していません。プリンターの操作パネル、telnetまたはWebブラウザから固定IPアドレスを設定してください。詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書〈取り扱い編〉、P.134「telnetによるリモートメンテナンス (mshell)」、またはP.123「Webブラウザを使用する」を参照してください。

✎ 補足

- 動作対象のDHCPサーバは、Windows 2000 Server 日本語版、Windows NT 4.0 Server 日本語版、NetWare5/5.1JおよびUNIXに標準添付されているdhcpdです。
- プリンターがDHCPから取得したIPアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、CD-ROMに収録されている使用説明書〈取り扱い編〉を参照してください。
- WINSサーバを使用する場合は、プリンターの設定項目でWINSサーバを[有効]に設定してください。
- WINSサーバを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。
- WINSサーバを使用しない場合は、毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、プリンターに割り当てるIPアドレスをDHCPサーバで予約してください。
- 複数のDHCPサーバが存在する場合は、すべてのDHCPサーバに同じ予約をしてください。プリンターは最初に応答したDHCPサーバからの情報で動作します。
- ネットワークにISDN回線を接続している環境でDHCPリレーエージェントを使用した場合、プリンターからパケットが送出されるたびにISDN回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

AutoNet機能を使用する

DHCPサーバからIPアドレスが割り当てられなかった場合、プリンターが臨時に169.254.xxx.xxxではじまるネットワーク上で使用されていないIPアドレスを自動選択して使用することができます。

✎ 補足

- AutoNet機能で自動選択されたIPアドレスは、DHCPサーバがIPアドレスの割り当てを再開すると、DHCPサーバから割り当てられたIPアドレスを優先的に使用します。このとき、プリンターが再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- プリンターが使用しているIPアドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、CD-ROMに収録されている使用説明書〈取り扱い編〉を参照してください。
- AutoNetモードで動作中の場合、WINSサーバへのプリンタ名の登録は行われません。
- AutoNet機能で起動している機器以外とは通信できません。

WINSサーバを使用する

プリンターの起動時に、プリンターのプリンタ名をWINS(Windows Internet Name Service)サーバに登録することができます。WINSサーバにプリンタ名を登録すると、DHCP環境で使用している場合、Infoprint Navigatorのポート名や、Webブラウザからのアクセスにプリンターのプリンタ名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターがWINSサーバを使用できるようにする設定について説明します。

補足

- サポートするWINSサーバは、Windows NT 4.0 Server ServicePack4以降またはWindows 2000 ServerのWINSマネージャーです。
- WINSサーバの設定について詳しくは、Windowsのヘルプを参照してください。
- WINSサーバが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンタ名の登録が行われます。
- 登録できるプリンタ名は、半角英数字で13バイト以内です。

Webブラウザを使用する方法

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスに「http://(設定を変更するプリンターのIPアドレス)」と入力します。

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。



- 3 [設定] をクリックします。

パスワードを入力するダイアログが表示されます。



- 4 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は空白に、パスワードには「password」と入力します。

- 5 [TCP/IP] をクリックします。

- 6 [WINS] が「有効」になっていることを確認し、[プライマリWINSサーバ]と[セカンダリWINSサーバ]にそれぞれWINSサーバのIPアドレスを入力します。



- 7 [更新] をクリックします。

設定が送信されます。

- 8 Webブラウザを終了します。

mshellを使用する方法

1 telnetを使用し、プリンターに接続します。

2 以下のコマンドを使用し、WINSを使用する設定にします。

```
set wins on
```

3 以下のコマンドを使用し、プライマリWINSサーバとセカンダリWINSサーバのIPアドレスを入力します。

```
wins primary IPaddress
```

```
wins secondary IPaddress
```

補足

- 現在の設定を確認するには、winsとコマンドを使用します。

参照

mshellについて詳しくは、P.134「telnetによるリモートメンテナンス (mshell)」を参照してください。

4 telnetを終了します。

Windowsからのファイル直接印刷

Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0からlpr、rcp、ftpコマンドを使って印刷できます。また、Windows 95/98/Meからはftpコマンドを使って印刷できます。

OS	lpr	rcp	ftp
Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0	✓	✓	✓
Windows 95/98/Me			✓

この方法で印刷できるファイルは、プリンターが搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

補足

- エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえばPostScript 3用のポストスクリプトファイルなどです。

ここではセットアップのしかたと、印刷のしかたについて説明します。

セットアップ

1 プリンターのネットワーク環境を設定します。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法について詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書〈取り扱い編〉を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、P.128「DHCPを使用する」を参照してください。

2 Windows に TCP/IP プロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

補足

- ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でlprを使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX用印刷サービス」または「Microsoft TCP/IP印刷」を組み込みます。

補足

- 印刷時にIPアドレスを使ってプリンターを指定する場合のセットアップは、これで終了です。プリンターの指定にホスト名を使用するときは、P.131「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」に進んで、セットアップを続けてください。

IPアドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPアドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

- ❖ **DNSを使用している場合**
DNS サーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。
- ❖ **WINSを使用している場合**
WINSサーバ上に設定したホスト名を使用します。
- ❖ **DHCP を使用してプリンターの IP アドレスを設定している場合**
システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。システム設定リストの印刷方法は、CD-ROMに収録されている使用説明書〈取り扱い編〉を参照してください。
- ❖ **その他の場合**
印刷を行うコンピュータのhostsファイルにネットワークプリンターのIPアドレスとホスト名を追加します。追加のしかたはOSにより異なります。

補足

- hosts ファイルはネットワーク内で通信するホストのIPアドレスとホスト名を登録するファイルです。

- Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。

- ① メモ帳などでhostsファイルを開きません。
hostsファイルは以下の場所にあります。

```
¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
¥WINNTはWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0のインストール先のディレクトリです。
```

- ② hostsファイルにIPアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。
192.168.15.16 ibm # NP
192.168.15.16はIPアドレス、ibmはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。
- ③ ファイルを上書き保存します。

- Windows 95/98/Meでhostsファイルを編集するには、以下のように操作します。

- ① ¥WINDOWS¥HOSTS.SAMを同じディレクトリにコピーし、名前をHOSTS（拡張子を付けません）にします。
- ② 作成した¥WINDOWS¥HOSTSファイルをメモ帳などで開きます。
- ③ IPアドレスとホスト名をWindows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0の場合と同じ形式で追加し、ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr、rcp、ftpコマンドを使った印刷方法を説明します。

操作の前に

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。

- Windows 95/98の場合：
[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]
- Windows Meの場合：
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[MS-DOSプロンプト]
- Windows 2000の場合：
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]
- Windows XPの場合：
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]
- Windows NT 4.0の場合：
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]

補足

- 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
- lpr：5（スプール設定機能ON時：10）
 - rcp、ftp：1
- 本機の搭載メモリー量によって接続数が異なります。rcpコマンドは工場出荷時1、メモリー増設時は5です。ftpコマンドは工場出荷時1、メモリー増設時は3です。
- ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

 参照

コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容はUNIXから印刷する場合と同様です。詳しくは、P.108「オプション指定」を参照してください。

エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについて詳しくは、各エミュレーションに同梱の使用説明書を参照してください。

lpr

❖ IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合

```
c:> lpr -SプリンターのIPアドレス [-Pオプション] [-O1] ¥パス名¥ファイル名
```

❖ IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合

```
c:> lpr -Sプリンターのホスト名 [-Pオプション] [-O1] ¥パス名¥ファイル名
```

ホスト名がibmのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Sibm -Pfiletype=POSTSCRIPT -O1 C:¥PRINT¥file1
```

rcp

あらかじめhostsファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。 P.133「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する場合」

```
c:> rcp ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名...] プリンターのホスト名:[オプション]
```

 補足

- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ホスト名がibmのプリンターに、C:¥PRINTディレクトリにある、名前がfile1とfile2のPostScriptファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2 ibm: filetype=POSTSCRIPT
```

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put ¥パス名¥ファイル名 [オプション]
```

❖ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名...]
```

 補足

- mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルを印刷する場合は、-bオプションを付けて下さい。

 制限

- ファイル名に「=」,「,」,「;」および「_」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- mput コマンドではオプションを指定できません。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス(またはhostsファイルに設定したプリンターのホスト名)を引数にしてftpコマンドを起動します。

```
% ftp プリンターのIPアドレス
```

2 必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないでReturnキーを押します。

```
User:
Password:
```

3 印刷するファイルを指定します。

以下はC:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のPostScriptファイルを印刷する例と、file1とfile2を印刷する例です。

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=PostScript
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

4 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

telnetによるリモートメンテナンス (mshell)

telnet を使ってプリンターの状態や設定内容を確認や、各種の設定を行うことができます。

補足

- リモートメンテナンス (mshell) はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- パスワードはWebブラウザによるネットワークインターフェースボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnet を起動してから終了するまでの手順は次のようになります。

制限

- リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

1 プリンターの IP アドレス (またはホスト名) を引数にしてtelnetを起動します。

```
% telnet プリンターのIPアドレス
```

補足

- IPアドレスの代わりにホスト名を使用するときは/etc/hostsの設定が必要です。

2 パスワードを入力します。

補足

- 工場出荷時のパスワードは「password」に設定されています。

3 コマンドを入力します。

参照

使用できるコマンドについて詳しくは、P.134「コマンド一覧」を参照してください。

4 telnetを終了します。

```
msh> logout
```

設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enterキーを押します。

変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enterキーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、Enterキーを押します。

補足

- 「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。
- リセットしてもActive状態(印刷中、または印刷処理待ち)の印刷ジョブは印刷されますが、Waiting状態(プリンターへのファイル転送待ち)のジョブは破棄されます。

コマンド一覧

リモートメンテナンスで使用できるコマンドの一覧です。

補足

- 「help」と入力すると使用できるコマンドの一覧が表示されます。

```
msh> help
```

- 「help コマンド名」と入力すると、入力したコマンド名の使い方が表示されます。

```
msh> help コマンド名
```

TCP/IPアドレス

TCP/IP(IPアドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス)の表示や設定を行うにはifconfigコマンドを使用します。

表示

```
msh> ifconfig
```

❖ 設定

msh> ifconfig インターフェイス パラメータ アドレス

インターフェイス	設定されるインターフェイス
ether sie0	LANインターフェイス
ip1394 * ¹ fwip0 * ¹	IEEE 1394インターフェイス
wlan * ² wi0 * ²	無線LANインターフェイス

*¹ 拡張1394ボード(オプション)装着時に指定できます。

*² 拡張無線LANボード(オプション)装着時に指定できます。

パラメーター	設定される項目
なし	IPアドレス
netmask	サブネットマスク
broadcast	ブロードキャストアドレス

❖ インターフェイス切り替え

拡張無線LANボード(オプション)接続時に、イーサネットと無線LANのどちらを使用するか指定することができます。

msh> ifconfig インターフェイス up

📎 補足

- 拡張1394ボード(ip1394)を指定することはできません。

(例)LANインターフェイスのIPアドレスを192.168.15.16に設定する

```
msh> ifconfig ether 192.168.15.16
```

(例)LANインターフェイスのサブネットマスクを255.255.255.0に設定する

```
msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0
```

📎 補足

- パラメーターで指定した項目が指定したアドレスに設定されます。
- サブネットマスクはLANインターフェイス、無線LANインターフェイス共通です。
- アドレスを16進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

💡 アドレスについて

❖ サブネットマスク

IPアドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ ブロードキャストアドレス

ネットワークの特定の全機器にデータを送るために決める特定のアドレスです。

📎 補足

- 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。
- 拡張1394ボード(オプション)装着時は、IEEE 1394インターフェイスとLANインターフェイスのネットワークアドレスが重複しないように設定してください
- TCP/IPの設定はLANインターフェイス、無線LANインターフェイス共通です。インターフェイスの切り替えを行った場合、設定は切り替えたインターフェイスが引き継ぎます。

アクセスコントロール

アクセスコントロールの表示と設定を行なうにはaccessコマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

❖ 表示

```
msh> access
```

❖ 設定

```
msh> access 対象番号 range 開始アドレス 終了アドレス
```

(例)アクセス可能なIPアドレスを192.168.0.10から192.168.0.20に設定する

```
msh> access 1 range 192.168.0.10 192.168.0.20
```

📎 補足

- アクセスレンジは、印刷できるワークステーションをIPアドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。

- 開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
- アクセスレンジは、5 件まで設定可能です。対象番号を省略した場合は、設定が無効になります。
- Webブラウザ、telnetまたはInfoprint Navigator/Administratorをご使用の場合、アクセスコントロールで制限されたIPアドレス以外からも使用できます。

❖ アクセスコントロールの初期化

```
msh> access flush
```

補足

- 工場出荷時の設定に戻します。全てのアクセスレンジが「0.0.0.0」になります。

DHCP

操作の前に

本コマンドはInfoprint 1356J/1336J/1316Jで使用できます。

DHCPの設定をするにはsetコマンドを使用します。

```
msh> set dhcp {on | off}
```

有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

補足

- 工場出荷時の設定はoffです。
- DHCP を使用するときはサーバの設定が必要です。

プロトコル

プロトコルの有効/無効を切り替えるには set コマンドを使用します。

```
msh> set プロトコル {up | down}
```

プロトコル	
appletalk	プロトコルを有効にするには「up」を、無効にするには「down」を指定します。
tcpip	
netware	
netbeui	
scsiprint *1	
ip1394 *1	
lpr	
ftp	
rsh	
diprint	
web	
snmp	
ipp	

*1 拡張1394 ボード(オプション)装着時に表示されます。

補足

- TCP/IPを無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、プリンターの操作パネルを使って設定し直してください。
- TCP/IPを無効にすると、ip1394,lpr,ftp,rsh,diprint,web,snmp,ippも使用できなくなります。

プリンターの状態

プリンターの状態を表示するには表示内容に応じたコマンドを使用します。

msh> コマンド

コマンド	表示される内容
status	プリンターの状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）
info	給紙トレイや排紙トレイの情報（プリンター情報）
prnlog [ID番号]	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）

補足

- prnlog で ID 番号を指定するとジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

参照

表示される内容について詳しくは、プリンター本体の使用説明書、およびP.146「取得情報の内容」を参照してください。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定状況を表示するにはshowコマンドを使用します。

msh> show [-p]

補足

- p オプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- NetBEUIプロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力しているときは、シフトJISが表示できる環境で使用してください。

参照

表示される内容について詳しくは、P.148「ネットワークインターフェースボードの情報」を参照してください。

システムログ情報

プリンターのシステムログ情報として記録されたメッセージを表示するにはsyslogコマンドを使用します。

msh> syslog

参照

表示される内容について詳しくは、P.151「システムログ情報」を参照してください。

SNMP

コミュニティ名などSNMPに関する表示と変更を行うにはsnmpコマンドを使用します。

制限

- IEEE 1394インターフェース（オプション）は、TCP/IPプロトコルのみ有効です。

補足

- 設定できる登録番号は1～10です。
- 登録番号の1～10にpublicが存在しない場合、Infoprint AdministratorやInfoprint Navigatorからプリンターを参照することはできません。
- 登録番号1と2の工場出荷時の設定は次のとおりです。

登録番号	1	2
コミュニティ名	public	admin
IPアドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
アクセスタイプ	read-only trap off	read-write trap off

表示

SNMP 情報と使用可能なプロトコルを表示します。

msh> snmp ?

指定した登録番号の設定状態を表示します。

msh> snmp [-p] [登録番号]

補足

- p オプションを付けると1画面ずつ表示されます。
- 登録番号を省略すると、すべての番号の状態を表示します。

❖ コミュニティ名設定

指定した登録番号のコミュニティ名を設定します。

```
msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名
```

補足

- コミュニティ名は半角英数字で 15 バイト以内です。

❖ アクセスタイプ設定

登録番号ごとにアクセスタイプを切り替えます。

```
msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ
```

アクセスタイプ	設定される内容
read	情報の読み出しのみ可能(read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)
no	アクセスできません (not accessible)

❖ プロトコル設定

使用可能なプロトコルを選択するには次のコマンドを使います。このコマンドで設定を無効にすると、すべての登録番号で使用できなくなります。

```
msh> snmp {ip | ipx} {on | off}
```

- プロトコルを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

登録番号ごとにプロトコルの設定を変えるには次のコマンドを使います。ただし、上のコマンドで無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

```
msh> snmp 登録番号 active {ip | ipx} {on | off}
```

❖ アクセス設定

使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。

「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。

「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、情報を通知するホストのアドレスを入力します。

```
msh> snmp 登録番号 {ip | ipx} アドレス
```

補足

- TCP/IPを使用するときはアドレスとしてIPアドレスを入力します。
- IPX/SPXを使用するときはアドレスとしてIPXアドレスを入力します。IPXアドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードのMACアドレス(物理アドレス)をコロン(:)で区切って入力します。
(例)登録番号3にIPアドレスを設定する(192.168.15.16)
msh> snmp 3 ip 192.168.15.16
(例)登録番号3にIPXアドレスを設定する(ネットワーク番号=7390A448、MACアドレス=00:00:74:62:5C:65)
msh> snmp 3 ipx 7390A448:000074625C65

IPP

IPPの使用環境を設定するには、IPPコマンドを使用します。

❖ IPPの設定値表示

IPPの設定値を表示します。

```
msh> ipp
```

次の設定値が表示されます。

```
timeout=900(sec)
```

```
auth basic
```

- 「timeout」には、ネットワークプリンターに接続できない場合にリトライをやめて印刷ジョブを一時停止するまでの時間(タイムアウト)が表示されます。
- 「auth」には、ユーザー認証のモードが表示されます。

❖ IPPタイムアウトの設定

印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は30~65535秒です。

```
msh> ipp timeout {30 - 65535}
```

❖ IPPユーザー認証方式の設定

IPPユーザー認証を行って、IPPを使って印刷できるユーザーを制限することができます。工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。

```
ipp auth {basic|digest|off}
```

- 「basic」または「digest」で、認証を行います。
- 「off」で、認証を行わなくなります。

補足

- ユーザー認証を行うように指定した場合、次の「IPPユーザーの登録」を参照してユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは10組まで登録できます。

❖ IPPユーザーの登録

IPPを使って印刷できるユーザーを登録できます。

```
ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
IPP user name:user1
```

```
IPP password:*****
```

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

```
User configuration changed.
```

ダイレクトプリント

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定を行うにはdiprintコマンドを使用します。

❖ 表示

ダイレクトプリントプロトコルの設定を表示します。

```
msh> diprint
```

次の設定値が表示されます。

```
port 9100
```

```
timeout=300(sec)
```

```
bidirect off
```

- 「Port」使用するポート番号が表示されません。
- 「bidirect」ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

❖ タイムアウトの設定

ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。

```
msh> diprint [0~65535]
```

補足

- 工場出荷時の設定値は300（秒）です。
- 0 に設定した場合、タイムアウトを行いません。

SMB

コンピュータ名やワークグループ名などNetBEUI関連の項目を設定、削除するにはsmbコマンドを使用します。

```
msh> smb パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
comp	コンピュータ名 (13バイト以下)
group	ワークグループ名 (15バイト以下)
comment	コメント (31バイト以下)
clear comp	コンピュータ名のクリア
clear group	ワークグループのクリア
clear comment	コメントのクリア

ROUTE

TCP/IPルーティングテーブルの設定をするにはrouteコマンドを使用します。

routeコマンドを使うと、通常のネットワークではルーター装置等の環境により自動的に保守されているルーティングテーブルを手動で変更できます。

補足

- ルーティングテーブルの最大数は16です。

コマンド	設定される項目
route add [host net] destination * ¹ gateway * ¹	destinationで表されるhost(or network)ルートおよびgatewayで表されるgatewayアドレスをテーブルに追加します。host/net省略時はhost設定となります。
route delete [host net] destination * ¹	destinationで表されるhost(or network)ルートをテーブルから削除します。host/net省略時はhost設定となります。
route get [destination * ¹]	destination指定時は該当route情報のみ表示します。destination無指定時は全route情報を表示します。
route active [host net] destination * ¹ on/off	指定されたdestinationの有効/無効を切り替えます。host/net省略時はhost設定となります。
route add default gateway * ¹	デフォルトゲートウェイアドレスの設定
route flush	全route情報を削除します。

*¹ IPアドレス

補足

- ルーターを越えて別のネットワークのワークステーションとやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ゲートウェイアドレスは、すべてのインターフェース共通になります。

SLP

SLPの設定を変更するには、slpコマンドを使用します。

NetWare5のPureIP環境でご使用の場合、SLPを用いてNetWareサーバを検索します。slpコマンドを使うと、SLP マルチキャストパケットが使用するTTL値(通過できるルーターの数+1)を指定できます。

補足

- 工場出荷時の設定は1です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこのTTL値を増やした場合でもネットワーク環境で使用するルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- 設定できるSLPパケットのTTL値は1～255です。

```
msh> slp ttl ttl_val
```

sprint

IEEE 1394(SCSI print)の設定をするにはsprintコマンドを使用します。

❖ 表示

IEEE 1394(SCSI print)の設定を表示します。

```
msh> sprint
```

❖ 双方向通信設定

IEEE 1394 (SCSI print) とパソコン間の双方向通信を設定できます。工場出荷時の設定は"on"です。

```
msh> sprint bidi [on/off]
```

無線LANの設定

無線LANの設定をするにはwiconfigコマンドを使用します。

制限

- 拡張無線LANボード(オプション)装着時に設定できます。

表示

無線LANの設定を表示します。

```
msh> wiconfig
```

拡張無線LANカードの情報を表示します。

```
msh> wiconfig cardinfo
```

補足

- 無線LANインターフェースが有効になっていない場合、拡張無線LANカードの情報は表示できません。

設定

```
msh> wiconfig パラメータ
```

パラメーター	設定される項目
mode [ap adhoc 802.11adhoc]	インフラストラクチャーモード (ap)、802.11アドホックモードまたはアドホックモード (adhoc) の設定ができます。 デフォルトは802.11アドホックモードです。
ssid 文字列	インフラストラクチャーモード時のSSIDを設定できます。 SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。空白の場合には自動で近くのアクセスポイントに接続します。 アドホックモード時には、インフラストラクチャーモード時と同じ値か、空白の場合「ASSID」という値が自動的に設定されます。

パラメーター	設定される項目
channel frequency	チャンネルを設定できます。 1-14の間で設定できます。 使用する機器間で同じチャンネルを使用してください。
enc [on off]	WEP機能の有効/無効を設定できます。WEP機能を有効にするには「on」、無効にするには「off」を指定します。 有効にする場合は正しいWEPキーを入力してください。
key 文字列	64-bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128-bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。 この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じWEPキーを設定してください。
wiconfig auth [open shared]	WEP使用時の認証モードを設定できます。指定値と認証モードは次のとおりです。 open : オープンシステム認証 (デフォルト) shared : シェアードキー認証
rate [auto 11m 5.5m 2m 1m]	無線LANにおける通信速度を設定できます。 ここで設定する通信速度は送信時の速度ですので、受信時はすべての速度を受信できます。設定値と通信速度は次のとおりです。 auto:自動設定 (デフォルト) 11m:11Mbps固定 5.5m:5.5Mbps固定 2m:2Mbps固定 1m:1Mbps固定

スプール設定

スプール設定の使用環境を設定するには、spoolswコマンドを使用します。スプール設定は「lpr」、「ipp」プロトコルに対応しています。

❖ 表示

スプール設定の設定値を表示します。

```
msh> spoolsw
```

❖ 設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

- スプール設定機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

❖ ジョブの初期化

本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、プリンタの電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定できます。

```
MILSの若いひとにmsh>spoolsw clearjob
{on |off}
```

❖ プロトコルの設定

プロトコルごとに設定を変えるには次のコマンドを使います。「lpr」、「ipp」プロトコルごとの指定ができます。

- lpr


```
msh> spoolsw lpr {on | off}
```
- ipp


```
msh> spoolsw ipp {on | off}
```

プリンター名の変更

プリンター名を変更するには、hostnameコマンドを使用します。

```
msh> hostname インターフェース プリンター名
```

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	LAN インターフェース *1
ip1394 *2	IEEE 1394 インターフェース
wlan *3	無線LANインターフェース

*1 インターフェースの指定は省略可能です。その場合、LANインターフェースへ自動的に設定されません。

*2 拡張1394ボード(オプション)装着時に指定できます。

*3 拡張無線LANボード(オプション)装着時に指定できます。

✎ 補足

- プリンター名は、13バイト以下で設定してください。
- RNPまたはrnpではじまる名前は設定できません。
- LANインターフェースと無線LANインターフェースは同じプリンター名になります。

WINS機能の設定

WINSサーバを指定するには、WINSコマンドを使用します。

✎ 補足

- WINSサーバ機能について詳しくは、P.129「WINSサーバを使用する」を参照してください。

❖ WINSサーバの設定値表示

WINSサーバのIPアドレスを表示します。

```
msh> wins
```

次の設定値が表示されます。

```
wins: primary server 192.168.10.1
secondary server server 192.168.10.2
wins server current config:
    primary server 192.168.10.1
secondary server 192.168.10.2
hostname RNPxxxx ScopeID
```

 補足

- ネットワークブートにDHCPを使用している場合、2行目に現在のWINSサーバのアドレスが表示されます。DHCPを使用していない場合は、2行目は表示されません。
- DHCPから取得したIPアドレスとWINSのIPアドレスが異なった場合、DHCPから取得したIPアドレスが有効です。

❖ WINS機能を有効にする

```
msh> set wins {on|off}
```

- WINS機能を有効するには「on」を、無効にするときは「off」を指定します。

❖ WINSサーバのアドレス設定

WINSサーバのアドレスを設定できます。

```
msh> wins {primary|secondary} アドレス
```

- 「primary」でプライマリWINSサーバのアドレスを設定できます。
- 「secondary」でセカンダリWINSサーバのアドレスを設定できます。

AutoNet機能の設定

AutoNet機能を使用するには、setコマンドを使用します。

```
msh> set autonet {on|off}
```

 補足

- AutoNet機能について詳しくは、P.128「AutoNet機能を使用する」を参照してください。
- AutoNet機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

パスワードの変更

リモートメンテナンスのパスワードを変更するにはpasswdコマンドを使用します。

 重要

- パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。

 補足

- 工場出荷時は「password」に設定されています。

1 passwdと入力します。

```
msh> passwd
```

2 現在のパスワードを入力します。

Old password:

3 新しいパスワードを入力します。

New password:

 補足

- 入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で3～8バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。
- パスワードはWebブラウザによるネットワークインターフェースボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

4 新しいパスワードをもう一度入力します。

Retype new password:

SNTP

SNTP (Simple Network Time Protocol) を使用して、NTPサーバと本機の時間とを合わせることができます。

SNTPの設定を変更するには、sntpコマンドを使用します。

制限

- サポートするNTPサーバはxnptd V3およびxnptd V4です。

❖ 表示

sntpの設定値を表示します。

```
msh> sntp
```

❖ NTPサーバのアドレス設定

NTPサーバのIPアドレスを設定できます。

```
msh> sntp server アドレス
```

❖ インターバルの設定

設定したNTPサーバと同期を取る間隔を指定します。

```
msh> sntp interval インターバル値
```

補足

- 工場出荷時の設定値は3600 (秒) です。
- 設定できる値は16 ~ 16384 (秒) です。
- 0 を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけNTPサーバと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

❖ タイムゾーンの設定

NTPサーバから取得した時刻情報との時間差を設定できます。

```
msh> sntp timezone +/-時間
```

補足

- 時間の書式は24時間単位となります。
- (例) 時間差を+8時間に設定する

```
msh> sntp timezone +08:00
```

SNMP

イーサネットインターフェース、無線LANインターフェースではUDPとIPX上で、IEEE 1394 (IP over1394) インターフェースではUDP上で動作するSNMP (Simple Network Management Protocol) エージェントが組み込まれています。SNMPマネージャを使ってプリンターの情報を取得することができます。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「admin」が設定されています。このコミュニティ名でMIB情報を取得することができます。

重要

- 工場出荷時のコミュニティ名を変更した場合は、印刷やステータスの取得に障害が起こる場合があります。

❖ サポートしているMIB

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得することができる情報の詳細です。

プリントジョブ情報

印刷待ちのジョブの情報です。

次の方法で確認できます。

- UNIX : lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstat/パラメーターを使います。 P.114 「プリンターの状態表示」
- mshell : statusコマンドを使います。 P.137 「プリンターの状態」

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態 <ul style="list-style-type: none">• Active 印刷中、または印刷処理待ち状態• Waiting プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元 (ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス)
Job	印刷要求番号
Files	ファイル名
Total Size	印刷ジョブのデータサイズ (スプール時) 常に「0 bytes」と表示。

プリントログ情報

これまでに印刷したジョブの記録です。過去16件分の記録が表示されます。

次の方法で確認できます。

- UNIX : rsh、rcp、ftpのprnlogパラメーターを使います。 P.114 「プリンターの状態表示」
- mshell : prnlogコマンドを使います。 P.137 「プリンターの状態」

項目名	意味
ID	印刷要求番号
User	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Page	印刷したページ数
Result	通信結果 <ul style="list-style-type: none"> • Finished 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • NG 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lprコマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、rprinterでは発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間
User ID * ¹	プリンタードライバで設定されたUser ID
JobName * ¹	ファイル名

*¹ IDを指定して、mshellのprnlogコマンドを入力した場合、表示されます。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードに設定してある内容の情報です。

次の方法で確認できます。

- mshell : showコマンドを使います。 P.137 「ネットワークインターフェースボードの情報」

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコルの有効(Up)、無効(Down)
AppleTalk	
TCP/IP	
NetWare	
NetBEUI	
IP over 1394 *1	
SCSI print *1	
Ethernet interface	内部的なバージョン番号
Syslog	
priority	
NVRAM version	内部的なバージョン番号
Device name	プリンタ名
Comment	コメント
Contact	SNMP情報での設置場所
Location	SNMP情報での管理者や連絡先
Soft switch	
AppleTalk	
Mode	選択中のAppleTalkプロトコル
Net	ネットワーク番号
Object	Macintosh上からのプリンター名
Type	プリンターのタイプ名
Zone	所属しているゾーン名
TCP/IP	
Mode	コマンドの有効(Up)、無効(Down)
ftp	
lpr	
rsh	
telnet	

項目名	意味
diprint	
web	
ftpc	
snmp	
ipp	
wins	
EncapType	フレームタイプ
dhcp	Dynamic Host Configuration Protocol : on (有効) off (無効)
Address	IPアドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
Gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
AccessRange [X *2]:	アクセスコントロールレンジ
Primary WINS	プライマリWINSサーバアドレス
Secondary WINS	セカンダリWINSサーバアドレス
Time Server	NTPサーバアドレス
Time Zone	NTPサーバとの時間差
Time Server Polling time	NTPサーバとのインターバル間隔
SYSLOG server	
Home page URL	ホームページのURL
Home page link name	ホームページのURL名
Help page URL	ヘルプページのURL
SNMP protocol	SNMPで使用するプロトコル
NetWare	
EncapType	フレームタイプ
RPRINTER number	リモートプリンタ番号
Print server name	プリントサーバ名
File server name	接続するファイルサーバ名
Context name	プリントサーバのコンテキスト
Swich	
Mode	動作モード
NDS/Bindery	(この値は固定です)
Packet negotiation	
Print job timeout	パケットタイムアウト

項目名	意味
NetBEUI Switch Mode Direct print Notification Workgroup name Computer name Comment Share name[1]	(この値は固定です) (この値は固定です) 印刷完了通知 ワークグループ名 コンピュータ名 コメント 共有名(プリンターの機種名です)
IP over 1394 *1 Device name Address Netmask Broadcast	プリンタ名 IPアドレス サブネットマスク ブロードキャストアドレス
SCSI print *1 Bidi	双方向通信設定(on/off).
IEEE 802.11b *3 SSID Channel range Channel Communication mode Rate Auth WEP encryption Encyption key	現在使用中のSSID 使用可能なチャンネル範囲 現在使用中のチャンネル 無線LANの通信モード 無線LANの通信速度 WEP使用時の認証モード設定の有効(valid) 無効(Invalid) WEPの有効(On) 無効(Off) WEPキー
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

*1 拡張1394 ボード(オプション)装着時に表示されます。

*2 Xには1~5の数字が入ります。

*3 拡張無線LANボード装着時に表示されます。

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

システムログ情報

システムログ情報は次の方法で確認できます。

- UNIX : rsh、rcp、ftpのsyslogパラメーターを使います。 P.114 「プリンターの状態表示」
- mshell : syslogコマンドを使います。 P.137 「システムログ情報」

メッセージ	状態、対処方法
Access to NetWare server <ファイルサーバ名> denied. Either there is no account for this print server or the NetWare server on the password was incorrect.	(プリントサーバ動作時) ファイルサーバにログインできません。<ファイルサーバ>上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。
add_sess: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。
session <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
add_sess:bad trap addr:<IpAddress>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPアドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap送信先ホストのIPアドレスを指定して下さい。
add_sess_ipx: bad trap addr: <IPXアドレス>, community:<コミュニティ名>	コミュニティのアクセスタイプがTrapの場合、IPXアドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。Trap送信先ホストのIPXアドレスを指定して下さい。
add_sess_ipx: community <コミュニティ名> already defined.	コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定して下さい。
session_ipx <コミュニティ名> not defined.	認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。
anpd start. (AppleTalk)	anpd(AppleTalk Network Package Daemon)を起動しました。
Attach FileServer=<ファイルサーバ>	ニアレストサーバとして<ファイルサーバ>にアタッチしました。>
Attach to print queue <プリントキュー名>	(プリントサーバ動作時) <プリントキュー名>にアタッチしました。
Cannot create service connection	(リモートプリンタ起動時) ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。
Cannot find rprinter (<プリントサーバ名>/<プリンタ番号>)(リモートプリンタ起動時)	<プリントサーバ名>上に<プリンタ番号>のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。

メッセージ	状態、対処方法
Change IP address from DHCP Server.	本機がDHCPサーバからのIPアドレスのリース更新時に、使用していたIPアドレスが変更されました。毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、DHCPサーバを設定してください。
child process exec error! (プロセス名)	本機がネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店、または弊社サービス技術員に連絡してください。
Connected DHCP Server (<DHCPサーバアドレス>).	DHCPサーバからのIPアドレス取得に成功しました。
connection from <IPアドレス>	ホスト<IPアドレス>よりログインされました。
Could not attach to FileServer <エラー番号>	(リモートプリンタ起動時) ファイルサーバに接続できません。ファイルサーバの設定を確認してください。
Could not attach to PServer <プリントサーバ名>	(リモートプリンタ起動時) プrintサーバに接続できません。Printサーバの設定を確認してください。
Current Interface Speed : <EthernetI/F速度>	現在のEthernet I/Fの速度です。(10Mbpsまたは100Mbps)
Current IP address (<現在のIPアドレス>).	DHCPサーバから取得した<現在のIPアドレス>で動作します。
Current IPX address <IPXアドレス>	IPXアドレスが<IPXアドレス>です。
DHCP lease time expired.	DHCPリース切れになりました。DHCP Discoverを再び行います。なお、使用していたIPアドレスが使用できなくなります。
DHCP server not found.	DHCPサーバが見つかりませんでした。ネットワーク上にDHCPサーバが起動していることを確認してください。
dhcpd start.	dhcpd (DHCPクライアントサーバ) を起動しました。
Duplicate IP=< IPアドレス> (from < MACアドレス>).	本機に設定されたIPアドレスが重複して使用されています。IPアドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示されたMACアドレスの機器をチェックしてください。
Established SPX Connection with PServer , (RPSocket=<ソケット番号>, connID=<コネクションID>)	(リモートプリンタ起動時) プrintサーバと接続を確立しました。
exiting	lpdのサービスを終了しました。
Exit pserver	(Printサーバ動作時) 必要な設定がされていないため、Printサーバを終了しました。
Frametype=<フレームタイプ名>	NetWareで使用するフレームタイプを<フレームタイプ名>に設定しました。
httpd start.	httpdが起動しました。
IEEE 802.11b <通信モード> mode	IEEE 802.11bの通信モードです。 例): IEEE 802.11b [infrastructure] mode : インフラストラクチャーモード時 IEEE 802.11b [ad hoc] mode : アドホックモード時

メッセージ	状態、対処方法
IEEE 802.11b current channel <チャンネル番号>	現在動作中のチャンネルが表示されます。アドホックモードの場合はユーザーが選択した番号が表示されます。インフラストラクチャーモードの場合は接続したアクセスポイントの使用チャンネルが表示されます。例): IEEE 802.11b current channel 11
IEEE 802.11b MAC Address = <MACアドレス>	IEEE 802.11b I/F のMAC アドレスが表示されます。例): IEEE 802.11b MAC Address = 00:00:74:XX:XX:XX
IEEE 802.11b SSID <ssid> (AP MAC Address <MACアドレス>)	インフラストラクチャーモードの場合に接続したアクセスポイントのSSIDおよびアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。例): IEEE 802.11b SSID test-ssid (AP MAC Address xx:xx:xx:xx:xx:xx)
IEEE 802.11b Tx Rate <送信速度>	IEEE 802.11b 送信速度(設定値)が表示されます。例): IEEE 802.11b Tx Rate 11Mbps
inetd start.	inetdを開始します。
<Interface> started with IP: <IPアドレス>	<Interface>に<IPアドレス>が設定されて、動作を開始しました。
<Interface>: Subnet overlap.	<Interface>に設定しようとしたサブネット範囲が、ほかのインターフェースのサブネット範囲と重なっています。各インターフェースのサブネット範囲が重ならないように設定してください。
IPP cancel-job: permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。
ipp disable.	IPP機能は利用できません。
ipp enable.	IPP機能が利用可能です。
IPP job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
job canceled. jobid=%d.	エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。
LeaseTime=<リース時間>(sec), RenewTime=<更新間隔>(sec).	DHCPサーバから取得したIPアドレスのリース時間は<リース時間>秒、更新時間は<更新間隔>秒で表示されます。
Login to fileserver <ファイルサーバ名> (< IPX IP>, < NDS BINDERY>)	(プリントサーバ動作時) 本機が<ファイルサーバ>にNDSまたはBINDERYモードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。
multid start.	マルチプロトコル用データ処理サービスを起動しました。
nbstart start. (NetBEUI)	NetBEUIプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
NBT Registration Broadcast(< NetBIOS名>)	< NetBIOS名>とIPアドレスのマッピング (NetBIOS名の解決) をローカルブロードキャストで行います。
nbttd start.	nbttd(NetBIOS over TCP/IP Daemon)を起動しました。(本サービスはDHCPモード時のみ起動されます。)

メッセージ	状態、対処方法
NetBEUI Computer Name=<コンピュータ名>	NetBEUIのコンピュータ名を決定しました。
nmsd start. (NetBEUI)	nmsd(NaMe Server Daemon)を起動しました。
nprinter start. (NetWare)	(リモートプリンタ動作時) NetWareサービスをリモートプリンタモードで起動しました。
nwstart start. (NetWare)	NetWareプロトコルスタック設定サーバが起動しました。
Open log file <ファイル名>	(プリントサーバ動作時) 監視ログファイルをオープンしました。
papd start. (AppleTalk)	papd(Printer Access Protocol Daemon)を起動しました。
permission denied.	ジョブのキャンセル時にユーザ名やホストアドレスによるチェックで権限なしと判定された場合 (ROOT権限を除く) に表示されます。
phy release file open failed.	ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。
Print queue <プリントキュー名> cannot be serviced by printer 0, <プリントサーバ名>	(プリントサーバ動作時) <プリントキュー名>を確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバ上に存在するか確認してください。
Print server <プリントサーバ名> has no printer	(プリントサーバ動作時) <プリントサーバ名>にプリンタが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。
print session full	印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。
Printer <プリンタ名> has no queue	(プリントサーバ動作時) <プリンタ名>にプリントキューが割り当てられていません。NetWareアドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。
pserver start. (NetWare)	(プリントサーバ動作時) NetWareサービスをプリントサーバモードで起動しました。
Required computer name (<コンピュータ名>) is duplicate name	ネットワーク上に同じ (<コンピュータ名>) のプリンタ名を検出しました。起動処理は、(<コンピュータ名>) にサフィックス (0, 1・・・) を追加して (<コンピュータ名>) を決めます。重複しないコンピュータ名を設定してください。
Required file server (<ファイルサーバ名>) not found	<ファイルサーバ名>で設定されたファイルサーバが見つかりませんでした。
restarted.	lpdのサービスを開始しました。
sap enable, sapttype=<SAPタイプ>, sapname=<SAP名>	SAP機能が起動されました。SAP (SAPタイプ、SAP名) パケットを発行し、NetWareサーバ上のSAPテーブルにサービスの存在を登録します。
Set context to <NDSコンテキスト名>	<NDSコンテキスト名>を設定しました。
shutdown signal received. network service rebooting...	ネットワークのリブート処理を行います。

メッセージ	状態、対処方法
smbd start. (NetBEUI)	smbd(Sever Message Block Daemon)が起動しました。
Snmp over ip is ready.	tcp/ip上での通信が可能です。
Snmp over IP over 1394 is ready.	IP over 1394上での通信が可能です。
Snmp over ipx is ready.	IPX上での通信が可能です。
snmpd start.	Snmpdを開始しました。
started.	ダイレクトプリントサービスを開始しました。
The print server received error <エラー番号> during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.	プリントサーバが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバをパスワードなしで登録してください。
win2kspd protocol-DOWN (APPEXIT).	IEEE 1394 SCSI printの設定がムコウになったので、SCSI printプロトコルによる印刷ができなくなりました。
win2kspd protocol-UP (APPENTRY).	IEEE 1394 SCSI printの設定がユウコウになったので、SCSI printプロトコルによる印刷が可能となりました。
win2kspd started.	SCSI print(SBP-2)サービスを開始します。
WINS name refresh :Server No Response	WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration/refresh error code (エラー番号)	重複しないNetBIOS名を設定して下さい。または、WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS name registration:Server No Response	登録処理に対する応答がサーバからありません。WINSサーバアドレスに誤りがないか確認して下さい。または、WINSサーバが正常に動作しているか確認して下さい。
WINS server address0.0.0.0	WINSサーバアドレスの指定がされていません。WINSによる名前解決を行う場合はWINSサーバアドレスを設定して下さい。
WINS Server=<WINS サーバアドレス> NetBIOS Name=<NetBIOS名>	<WINSサーバアドレス>への名前の登録が正常に終了しました。
WINS wrong scopeID	不正なスコープIDが使用されています。正常なスコープIDを設定して下さい。
write error occurred.(diskfull)	スプールファイル書き込み中にHDDの空き容量がなくなりました。印刷処理が進み、HDDの空き容量が増えるのをお待ちください。
write error occurred.(fatal)	スプールファイル書き込み中に致命的なエラーが発生しました。電源再投入後復帰しなければサービス実施店に連絡してください。

使用上の注意

ネットワークインターフェースボードを使用する場合は、次の事項に注意してください。設定が必要な場合は、正しく設定してからお使いください。

ネットワークにISDN回線を接続している場合

IBM製のネットワークキューティリティには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によってはISDN回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークキューティリティの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

リモート側のネットワーク上にNetWareのファイルサーバが存在している場合、プリンターから送出されるパケットによりISDN回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。これはNetWareの仕様によるものなので、この問題を回避するには次に示すネットワーク管理上での対応が必要です。ネットワーク管理上対応できない場合は、プリンターの設定で対応してください。

ネットワーク管理上の対応方法

ISDNルーターでプリンターのパケットをフィルタリングし、プリンターのパケットがISDN回線に流れないように設定してください。

補足

- フィルタリングするプリンターのMACアドレス(物理アドレス)は、プリンターから印刷するシステム設定リストの「イーサネットアドレス」に記載されています。システム設定リストについて詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書<取り扱い編>を参照してください。
- ルーターの設定を変更できない場合は、以下の手順で対応してください。

プリンターの設定による対応方法 (NetWareを使用する場合)

- 1** 本書のセットアップ方法にしたがい、必ずファイルサーバを指定します。

補足

- Infoprint Administratorでは、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、[NetWare]タブの[ファイルサーバ名]ボックスに、ファイルサーバ名を入力します。

- 2** NetWareの使用環境に合わせてフレームタイプを固定します。

参照

使用するフレームタイプを選択する方法について詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書<取り扱い編>を参照してください。

プリンターの設定による対応方法 (NetWareを使用しない場合)

- 1** ネットワークインターフェースボードは印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルの選択でNetWareを無効にします。

参照

プロトコルを無効にする方法について詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書<取り扱い編>を参照してください。

NetWare環境で印刷する場合

フォームフィードの設定

NetWare上で用紙送り(フォームフィード)の設定をしないでください。Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りしないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合はプリンターのプロパティの[ポートの割り当て]タブで、[ジョブ後に用紙を送る]のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用しているOSに応じて以下のように設定します。

- Windows 95/98/Meの場合はプリンターのプロパティの[ポートの割り当て]タブで、[見出しページ]のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは30~40秒後にいったんプリントサーバから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これはNetWareの仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバ上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから2分程度待って印刷してください。

Infoprint NavigatorでIPPを使用する場合

Infoprint NavigatorでIPPを使用する場合は、以下の点に注意して使用してください。

- ネットワークプリンターが受け付けるInfoprint Navigatorからの印刷ジョブは、1件のみです。ネットワークプリンターが印刷中のとき、他のユーザーがInfoprint Navigatorを使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーのInfoprint Navigatorは、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Infoprint Navigatorがネットワークプリンターに接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、ネットワークプリンターに接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、ネットワークプリンターが印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Infoprint Navigatorからの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなってネットワークプリンターにより印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要があります。
- 他のコンピュータから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーがInfoprint Navigatorを使用して印刷しようとした場合、ネットワークプリンターに接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPPの印刷ポート名にIPアドレスは使用できません。Infoprint Navigatorがポート名としてIPアドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。

仕様

インターフェース	100BASE-TX、10BASE-T、IEEE 1394 (IP over 1394) ^{*1} 、IEEE 802.11b
フレームタイプ	EthernetII、IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> • IPX/SPX NetWare 3.12J、3.2J、4.1J、4.11J、4.2J、IntranetWare、5/5.1J • NetBEUI^{*2} Windows 95 日本語版 Windows 98 日本語版 Windows Me日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows NT 4.0 日本語版 • TCP/IP Windows 95 日本語版 Windows 98 日本語版 Windows Me日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows XP 日本語版 Windows NT 4.0 日本語版 NetWare5/5.1J UNIX • IPP Windows 95 日本語版 Windows 98 日本語版 Windows Me日本語版 Windows 2000 日本語版 Windows XP 日本語版 Windows NT 4.0 日本語版 • AppleTalk MacOS 漢字Talk7.1以降 Mac OS X 10.1
SNMP	MIB-II、PrinterMIB、HostResourceMIB

^{*1} 拡張1394ボード（オプション）装着時に、TCP/IPプロトコルのみ使用できます。

^{*2} NetBEUIプロトコルは、Infoprint Navigatorポート経由でご使用ください。

索引

アルファベット索引

AutoNet機能 **128**
DHCP **128**
 AutoNet機能 **128**
/etc/hosts **103**
/etc/printcap **103**
EtherTalkへの切り替え **97**
ftpコマンドによる印刷 **106**
IPP **138**
LANアダプタ(LANA)番号 **61**
lpr、lpコマンドによる印刷 **105**
LPRポートを使ったTCP/IP印刷
 Windows 2000 **32**
 Windows NT 4.0 **64**
 Windows XP **46**
Macintoshで使う **97**
mshell **134**
NetWare3.xJでのセットアップ **78**
NetWare4.xJ、NetWare5/5.1Jでのセットアップ **84**
NetWareで使う **77**
Infoprint NavigatorでIPPを使用する場合の注意 **157**
ROUTE **140**
rsh、rcp、ftpコマンドによる印刷 **105**
SLP **140**
SMB **139**
SNMP **137, 145**
SNTP **144**
TCP/IPアドレス **134**
telnetによるリモートメンテナンス (mshell) **134**
 コマンド一覧 **134**
 コマンド **137**
UNIXで使う **99**
Webブラウザを使用する **123**
Windows 2000で使う **27**
Windows 95/98/Meで使う **13**
Windows NT 4.0で使う **59**
Windows XPで使う **43**
Windowsからのファイル直接印刷 **131**
WINSサーバ
 mshell **130**
 Webブラウザ **129**

あ行

アクセスコントロール **135**
印刷方法
 UNIX **105**
 Windowsからのファイル直接印刷 **132**
インストールシエルの実行 **100**
インストールシエルの実行結果 **103**
オプション指定(UNIX) **108**
オプション指定 (UNIX)
 印刷部数 **111**
 エミュレーションとプログラム **108**
 オプション指定の変更方法 **113**
 解像度 **113**
 給紙トレイ **109**
 ソート部数 **112**
 排紙トレイ **111**
 用紙サイズ **110**
 用紙種類 **110**
 両面印刷 **112**

か行

クライアント側のセットアップ
 NetWareへの印刷 **93**

さ行

サブネットマスク **135**
システムログ情報 **151, 137**
取得情報の内容 **146**
仕様 **158**
使用上の注意 **156**
スプール設定 **142**
セットアップ
 Macintosh **97**
 NetWare3.xJ **78**
 NetWare4.xJ/NetWare5/5.1J **84**
 UNIX **99**
 Windowsからのファイル直接印刷 **131**

た行

ダイレクトプリント **139**

な行

名前とコメントの変更
Windows 2000 **35**
Windows 95/98/Me **19**
Windows NT 4.0 **68**
Windows XP **51**

ネットワークインターフェイスボードの
情報 **148, 137**

ネットワークにISDN回線を接続している場合 **156**
DHCP **136**

は行

パスワード **124, 143**
プリンターの状態 **137**
プリンターの状態表示
Windows 2000 **39**
Windows 95/98/Me **23**
Windows NT 4.0 **72**
Windows XP **55**
UNIX **114**
プリントサーバとして使う
NetWare3.xJ **78**
NetWare4.xJ/NetWare5/5.1J **84**
プリントジョブ情報 **146**
プリントログ情報 **147**
ブロードキャストアドレス **135**
プロトコル **136**

ま行

無線LANの設定 **141**
メッセージ一覧 **151**

ら行

リモートプリンタとして使う
NetWare3.xJ **80**
NetWare4.xJ,NetWare5/5.1J **87**

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とおお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。



おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

製品情報および製品についてのお問い合わせ

IBMプリンター & サプライ関連製品・サービスの詳細情報については
IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/printer/>
IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/supply/>
IBM FAXサービス (044-200-8600) をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員、
または、ダイヤルIBMへ。



0120-04-1992

● 受付時間：月～金 9:00～18:00 (土、日、祝祭日、12/30～1/3を除く)

携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤルIBM 044-221-1522 (この場合、通話料金はお客様のご負担となります。)